



発行・町田市 編集・政策経営部広報広聴課広報係  
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23  
市役所の代表電話042・722・3111  
町田市コールセンター ☎042・724・5656  
☎042・724・5600  
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)  
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



## 今号の紙面から

2~3面

市長・市議会議員  
当選者

4面

町田さくらまつり

9面

ことぶき大学  
受講生募集

# 市民の生活を守り 地域経済を活性化させるために

## 2期目の 市政運営に向けて

### 町田市長 石阪丈一

私は、2月21日に行われた市長選挙において、多くの市民の皆様にご支持、ご支援をいただき、再び市政運営を担当させていただくことになりました。昨今の経済不況に加え、中央集権から地域主権への流れが加速するなか、地方自治体の役割はますます重要になっており、市長として、その責任の重大さを痛感しております。市民の生活を守り、地域経済を活性化させるために、引き続き全力を傾注してまいります。

市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 1期目を振り返って

私は、2006年3月に市長に就任した際、やるべきこととして2つのことを志いたしました。1つは、町田市の発展と市民生活の発展の道筋を確かなものにする、もう1つは、「税金を市民の皆様からお預かりしている」という認識を持って仕事をすることでありました。

そこで私は、「市民すべてが希望の持てるまち」を市政運営の基本的な理念とし、「市民協働のまち」「環境先進都市」「子育て・保健福祉のまち」「商業・文化芸術都市」の4つの都市像を掲げ、様々な政策を推進してまいりました。また、「徹底した情



報の公開と提供」「効率的で効果的な行政運営」「持続可能な財政の確立」の3つの指針を示して、行政経営の改革にも取り組んでまいりました。

このたびの市長選挙では、これらの取り組みを進めた市役所や職員の仕事ぶりに対して、多くの市民の皆様から前向きな評価をいただいたと受け止めております。これから4年間については、今以上に市民の皆様と情報共有し、ともに歩む市役所になるよう、全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

#### 政策の方向性

ここで、4年間に取り組む政策の方向性について、申し述べさせていただきます。2期目の市政運営は、「町

田の未来をつくる」をテーマとして、町田市を元気なまちにするための4つの政策を推進いたします。

#### 1 暮らしの安心・安全をつくる

町田市を元気なまちにしていくためには、まず何よりも、すべての市民が安心して、安全に暮らせるまちを実現しなければなりません。このため、私は、「暮らしの安心・安全」をつくる政策を推進いたします。

まず、子育てをしやすい環境をつくるため、保育所待機児童ゼロの実現をめざすとともに、幼稚園の就園支援や放課後児童の居場所づくりなど、地域ぐるみの子育て・子育て支援を進めます。

また、高齢者や障がい者が暮らしやすい地域福祉社会を実現するため、高齢者施設の整備を促進するとともに、福祉輸送サービスの利便性向上に努めます。

さらに、市民病院の一層の経営改善に取り組み、医療サービス上の安定的な供給の確保に努めるとともに、地域医療機関との連携の強化を図ります。

また、市民の健康づくりを支援するため、2011年4月に保健所政令市へ移行し、「健康」の視点を立った総合的かつ一体的なまちづくりを推進します。

#### 2 夢のあるまちづくり

町田市を元気なまちにしていくためには、市民が夢や希

望を持って暮らせるまちを実現することも重要です。このため、私は、「夢のあるまちづくり」を推進いたします。

まず、町田を拠点に全国で活躍するスポーツチームを応援するなど、スポーツによるまちづくりを推進するとともに、コンベンションホール整備の検討など、文化芸術によるまちづくりを推進します。

また、「クルマに頼らない移動手段」のある成熟型社会にふさわしい交通環境を構築するため、モノレールや幹線バスなど、新しい交通システムの整備計画づくりを進めるとともに、多摩地域南北方向の交通機能の強化や、市内交通の利便性向上に取り組ま

#### 3 環境先進都市をつくる

町田市がいつまでも元気なまちであり続けるためには、環境に配慮した持続可能な社会になっている必要があります。

このため、私は、「環境先進都市 町田」の実現をめざす政策を推進いたします。

まず、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出削減を図るため、清掃工場で焼却している「生ごみ」や「プラスチックごみ」の資源化に向けた取り組みを進めます。

また、町田市北部の丘陵地域を東京圏の貴重な資源と位置づけ、住民の生活基盤の強化を図るとともに、農業を中心とする地域経済の振興や観光資源としての活用を推進します。

#### 4 地域経済の活性化と行政経営改革

町田市がいつまでも元気なまちであり続けるためには、地域でお金が循環する社会になっていることも必要です。このため、私は、地域経済を活性化させる政策を推進するとともに、行政経営の更なる改革を推進いたします。

まず、地域経済の活性化では、産業活動の基盤である幹線道路網の整備を国や東京都などと共同で進め、交通渋滞の解消に努めます。

また、市内中小企業への融資などの継続的な経営支援を行うとともに、市役所移転跡地の活用も含めた中心市街地の活性化に向けた取り組みを推進します。

さらに、行政経営改革では、職員給与水準の適正化や人事考課の徹底を図り、職員のやる気と能力を向上させるとともに、持続可能な財政を確立するため、市の財政収支を中期的に見通し、公債費比率の抑制や市債発行残高の管理を徹底します。

私は、42万すべての市民が希望の持てるまちをめざして、そして、町田の未来をつくるために、これからも市政運営に全力を挙げて取り組んでまいります。重ねて、市民の皆様のご理解とご協力を切